

2026年度 東北学院大学 編入学選抜 転学部・転学科試験

小論文問題

(地域総合学部 政策デザイン学科)

問 ある自治体で、駅前広場と商店街におけるごみのポイ捨て（空き缶・ペットボトル・食べ歩き
の容器等）が問題となり、苦情が増えている。自治体は対策を検討しているが、(1) ルールを強化
すると反発が出る懸念、(2) ルールが弱いと実効性がない懸念、の両方がある。

これらを踏まえたうえで、自治体を実施すべき政策について、次の論点1～5の順に分けて記述
しなさい。文字数は自由とする。

論点1 政策実施の根拠として、どのようなデータや市民・関係者の意見を収集・整理すべきか記
述しなさい。

論点2 現状、及びポイ捨て行為が制限又は抑制された場合のそれぞれにおける、ポイ捨て行為者、
住民、及び商店の3者それぞれの利益もしくは不利益を記述しなさい。なお、利益もしくは
不利益がないと考える場合は「特になし」などと記述する。

論点3 ポイ捨て行為の制限又は抑制に関する施策を考え記述しなさい（施策の数は自由）。その
後、①論点1を踏まえた施策の効果を確認するための指標や方法、及び、②論点2の3者そ
れぞれに対する施策の影響を考慮した上で、提案した施策が「有効な施策」と考えられる理
由を説明しなさい。

論点4 論点1～3を踏まえ、上記の政策実施において予想される、市民からの反対意見を提示し、
自治体を実施する政策を市民に対してどのように説明し、政策の実施を正当化するかを記述
しなさい。

論点5 その他、まちづくりに重要と考える自治体の対応以外の要因があれば自由に記述しなさい。

注意

- | |
|--|
| <p>(1) 答案用紙には受験学科・受験番号だけを記入し、氏名は<u>記入しない</u>こと。</p> <p>(2) 答案は横書きとし、問題の字数に従い解答すること。</p> <p>(3) 答案は1行目から本文を書き始め、問題は<u>書かない</u>こと。</p> |
|--|